

ひびき通信

平成 29 年
3 月 版

消防設備に異常なし

全館で設備の点検を実施しました

在宅サポートセンター生田の消防設備点検がこのほど行われました。当センターは、火災を感知した際、自動的に消防署へ連絡が入る自動火災報知システムを導入しています。点検では、

一階のデイサービス、厨房、倉庫、事務所をはじめ、二階のグループホームや宅老所など全館に設置されている煙感知器、熱感知器の作動をチェック。異常のないことを確認しました。

常勤、非常勤区別なく

一人一人のご利用者様の「満足」を追及

在宅サポートセンター生田が開設された平成十八年四月から、毎月欠かさずに開催されてきたのがケースカンファレンス会議となる職員ミーティングです

きめ細かなアセスメントと検証、修正そして実践へ

このミーティングの大きな特徴となっているのが、常勤職員、非常勤職員の区別なく全員が参加することです。

開設から続く全員ミーティング

デイサービス響とグループホーム響



㊤デイサービスのミーティング ㊦グループホームのミーティング。全員参加が基本。ご利用者一人ひとりのケアについて、丁寧に確認しています。

第三者評価で訪問調査

三月十五日に
グループホーム響で

グループホーム響の外部評価に関する訪問調査が、三月十五日に行われます。

外部評価は平成十四年から定期的に実施されているもので、介護サービス全般

について第三者が評価するものです。また、家族のアンケート調査なども同時に行われ、スタッフの対応なども評価の対象となります。

具体的な評価結果は二カ月後に公表されることになっていきます。結果につきましては、再度誌面を通じてご報告いたします。



赤鬼に夢中で「鬼はそと」

節分

春よ来い 福よ来い

デイサービスとグループホームに赤鬼登場

恒例の豆まき大会

二月三日の節分の日、デイサービスとグループホームに赤鬼が登場しました。今年の赤鬼は元気いっぱい。フロア中を駆けめぐり、ご利用者たちに「うおー」と雄叫びあげます。突然の鬼の登場にご利用者たちはビックリしながらも、用意していた「豆」を夢中で投げつけ、「鬼はそとー、福はうちー」。退散する赤鬼に、「今年も福は内、福は内」と笑顔を見せました。

「き活きに」をモットーに、一歩一歩に向けて努力を続けていきたく、安心、安全なケアの実現に向けて考えています。

基本の移乗介護を復習

三月十日に下山名月さんの仕上げの講座

介護アドバイザーの下山名月さんによる介護技術講座が三月十日に、在宅サポートセンター生田で開催されます。昨年からの連続講座として行われてきたセミナーも、今回の第五回が最終講座になります。セミナーでは、改めて介助の「個別性であり普遍的であり方などについて復習します。介助の際の立ち位置、腰やひざの使い方、腕や手の平の使い方などについて復習します。